

取組事例発表

第 27 回西日本技術士研究・業績発表年次大会基調発表

アフターコロナ時代における持続可能な地域の活性化に向けて

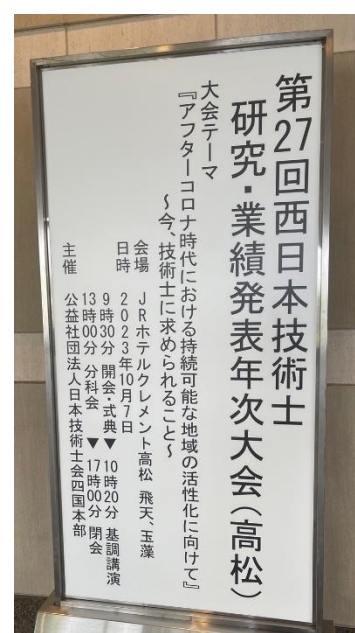
株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場 太一郎)は、2023 年 10 月 7 日に JR クレメントホテル高松で実施された第 27 回西日本技術士研究・業績発表年次大会（高松）にご招待いただき、当社の取り組み事例をご紹介させていただきました。

■技術士と第 27 回西日本技術士研究・業績発表年次大会について

技術士は科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者であり、科学技術の応用面に携わる技術者に与えられる権威のある国家資格です。さらに、技術士法により高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努めることが責務となっています。

一方、コロナ終息後（アフターコロナ）を見据えた上で、グローバル課題である「SDGs（持続可能な社会）」の実現に向け、新たな社会システムの構築とともに、地域活性化への取り組みが必要になってくるものと思われます。このような中で、地域における指導的な立場である技術士は、その環境変化にいち早く対応し、その成果を社会に還元していくことが求められています。

本大会では、『アフターコロナ時代における持続可能な地域の活性化に向けて～今、技術士に求められること～』をテーマに取り上げ、具体的な取り組みや、研究事例を持ち寄り議論することで継続した資質向上に資するための大会となっております。



■当社の講演について

当社の講演は本大会中で行われた分科会の中の基調発表として『種々の廃棄物から安定的にバイオガスを回収～地域における混合系バイオマス等による乾式メタン発酵技術を適用したバイオマスエネルギー地域自立システムの実証事業』と題しまして、当社乾式メタン発酵施設の運転状況等についてご報告させていただきました。廃棄物を



資源に変えるということは循環型社会の構築という観点から非常に重要であると当社は考えています。

アフターコロナ時代における持続可能な地域の活性化に向けた取り組み事例として当社の取り組みが技術士の方たちの中で何かの参考になれば幸甚の至りです。

今後も当社は廃棄物処理はじめとする地域が抱える種々の課題を解決するとともに、循環型社会の形成にも貢献することを使命と捉えて、様々な方たちと協力させていただきながら新規事業の開発等に挑戦して参ります。

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com